

【自由意見】

(全体)

リストとしては、網羅的に略略掲載されていると思いますが、それを実施する段階においては優先順位もあり、また個々にはさらに具体的な提案なりイメージについて、一般市民の幅広い意見を聴取して下さることを希望します。

(将来都市像)まちなぎわい

P40: 中心市街地の活性化へ向けた市の二元管理から一元管理へ。

(市民意識)

P18: 11行目と12行目の文をつなげること。

P19: 「昨今の経済～」となっているが、「まちなぎわい」の評価が下がっているのは、まちづくりがうまく機能していないからであり、まちなぎわいと経済を直結する認識が誤りです。「まちなぎわい」は人であり、すべてが経済とは言い切れない。そこには「文化」の視点もあるはず。

P20: 「バス・電車の利便が悪い」が過半数なのは、自動車優先に道路環境を整備してきたことにほかなりません。

(財政状況)

P24: 「歳入・歳出等の推移の見込み」のグラフで、歳入・歳出及び年度末残高とのつながりが不明です。一部だけ記載しても意味がわかりません。「財調・減債」の意味の解説が必要です。

P25: 表の項目「公債費」～「措置費」の意味に解説が必要。

(成長戦略)環境立市あきた

P32: 環境ビジネス以前に市民や企業が取り組む課題の実現。例)エコ交通の徹底(歩行者・自転車・バスの優先)。緑の条例の義務づけ。ごみの有料化など受益者負担の原則。

自動車で便利に移動するだけでなく、まずは自分の住む地域を大切にす意識改革が必要です。これはエコにもつながります。

(将来都市像)景観形成と都市緑化

P43: 太平山、田園風景、千秋公園など自然豊かですが、駅前(西口・東口)や中心市街地・通町・新国道等、街路樹が少なく、とても違和感があり落ち着きません。

もちろん、八橋や山王など緑の多い地域もありますが、比較的新しく整備された道路には本当に緑が少なく奇妙にさえ感じます。

30年間東京で暮らし、5年前に秋田へ戻りましたが、東京の方が街路樹や緑が本当に多いです。

秋田市民が本当に緑を身近に感じ、うるおいとやすらぎを得られる景観を形成されるよう『緑の空洞化』も防ぐよう心よりお願い申し上げます。

(市政全般)

買い物客の中に特に70歳以上の老人(特に体の弱い)が地区に多くいるが、川尻の地元ではト一屋川尻店の退去により不便でしたが、現在は近くのジェイマルエーのみ、やっと安く提供していることが心強く感じている。産業分類別出荷額の推移では、食料品製造業が平成19年は11.1%増となり、これと関連してぜったい川尻・旭南の人々(特に老人)にとって、潰されないように祈っている。最近よく見かけるタクシーに乗って買い物をする姿は痛々しく思っている。ぜひとも地区別に1店舗ずつスーパーがある理想を実現して欲しい。

(市民意識)

P18: もっとも主婦として関心があるのは、評価が高い項目のごみ収集・処理やりサイクルへの取組だが、今後のごみの有料化の行方がとても心配。広報を読んだだけでは全然わからなかったが、有料化する方針なのですよ。

(将来都市像)交通機能の充実

P45: 少子高齢化になると、ますますバスの普及を望みたいのだが、高齢者が免許をなかなか返還せず、怖い運転も多々見受けられるのは、やはり公共交通に期待できないからではないか。盛岡市などでは、100円で乗れるバスがありとても充実している。

(将来都市像)雪に強いまちの確立

P48: 除雪の仕方がとても下手であること。大仙市、仙北市もしくは横手市など雪の多い所で学んできて欲しい。小さい空き地があればとにかくそこに積み上げ、雪解けにちゃんと積み上げたものを崩しに来るようなことを言っても、来たためしが無い。

【自由意見】

(産業構造)

P6: 大部分が過去のデータの様ですが、説明を聞かないと理解しにくい資料とされます。特にP14の表(グラフ)等の比率は、何をもとにしての数値なのか(足したり割ったりしてわかりましたが)一目でわかるようにしていただきたいと思いました。

(全体)

P26: もう一步踏み込んだ(具体的な)計画が必要かと思えます。

(将来都市像)観光振興の推進

P39: 一般市民を対象に姉妹都市(国内・海外問わず)に親善視察(研修)等実施することにより、相手方からも来ていただけるものと思えます。

その他: 市議会議員等の定数・報酬も再考の必要が?

(都市環境)

P16: 人口集中地区の推移が図からは読み取れないので、もっとわかりやすく図示して欲しい。

(将来都市像)雇用拡大の推進

P37: 【対応】で、勤労意欲のある高齢者の雇用確保とあるが、彼らが経済的困窮者でなければ、ボランティアとして活動してもらい、雇用は若者に回して欲しい。日本人はボランティア精神に欠けている。

(将来都市像)高齢者福祉の推進

P55: 長生き(特に不健康で)が善で、死はタブーであるという思考は、そろそろ捨てて欲しい。死にたい者は自然に死ねる環境づくりを。

(将来都市像)豊かで活力に満ちたまち

P35: 「雇用とにぎわいの創出」と簡単に書いていますが、人のいないところには商売が成り立たない訳で、人口減少を止めるのは必須課題です。そのためには、積極的な企業誘致(税制面等の優遇)を進め、雇用の創出を図り、労働人口の県外流出に歯止めをかけてもらいたいです。

(将来都市像)にぎわいの創出

P40: セリオンの道の駅での物販機能の強化は、にぎわいの創出に欠かせないものだと思います。周辺の農家を集めての産直コーナーでは、魅力ある商品構成やボリュームはおのずと限界があり、リピーターは期待できないと思います。近くに中央卸売市場があることを活用できないものか。例えば、毎週土曜日午前中のみで「市場直送市」のようなタイトルで、青果物・海産物を販売するような仕組みを作っても良いと思う。

(財政状況)

P24: 歳入・歳出の推移見込みは、ずっと in<out となっている。文中、「収支不足が続くものと予想されます。」とは、あまりに人ごとのような書き方。それが当然と思わずに、改善のための方策を考えるべき。

(成長戦略)

P29: 投入できるリソースと戦略1~6が見合っているか。多すぎるように思う。個人的には、エイジフレンドリーシティ実現(今後増加する高齢者をターゲットとしたまちづくり)と、次世代の育成支援(教育の充実が抜けている)が重要と思う。

(市民意識)

P18: 他県(青森・山形又は秋田市と気候が似ている等)での調査結果が少しあれば比べることができます。市内だけの意見では「現状維持でいい」になりかねません。もう少しランクを上げる(下げる)ことも考えて良いと思えます。

(将来都市像)雇用拡大の推進

P37: 今の秋田は確かに少子高齢化が進んでいます。私が子どもの頃、60年くらい前でしょうか、たくさんの人がいました。その頃問題になったことの1つに、次男・三男等の問題があったと思います。生活に不安がなかったのは長男だけです。確かに活気はあったかもしれないが、二男・三男・四男の家族は幸せを感じたでしょうか。昔は人が多すぎたのです。少し(少ないかな)くらいのほうが、皆が色々なことに頑張っていけるはず。多ければ係が回ってきません。

(将来都市像)にぎわいの創出

P40: 駅周辺のにぎわい創出については関心がありますが、疑問もあります。どの店も無料の駐車スペースを求めて郊外へ出て行きますが、駅周辺は駐車料金を取って人を集めようとしているように感じます。これは時代の流れに逆行しているのではないのでしょうか。

【自由意見】

(成長戦略)次世代の育成支援

P34: 生み育てやすい環境づくりは、本当に切実で真剣に考えなければならないことと思います。出産後、収入目的で働かなければと思っても職がなく、やっと見つけたと思えば4時間半のパート労働、それでもと思うのだが、5時間以上労働でなければ保育所では預かってくれない条件だと、せつかく見つかった職も取りやめた、との話も聞きます。若いママさん達の雇用が先か、保育所が先か。保育所不足が問題か。

(市民意識)

P20: 雇用対策を一番と考えます。若い人達を秋田にとどめておく対策は何か、職がない、職がないのはなぜか。秋田人は物事に対して消極的で、自分から進んで前に出ない、出ると足を取られる、だまっていたほうが無難だと良く耳にします。なぜか秋田の人はまだ昔の考えを持った人がいっぱいいる。特に河辺はそう思われてなりません。

(市民意識)

P20: 高齢者福祉の事ですが、一人暮らしの方また二人にせよ、大変なことは目に見えていますが、私のような貧しい生活をしていても社会福祉評議員とは誰も知っていないし、言葉をかけても「何であんたに。」と思われがちで、口出しもできないのが悲しく思います。何か良い方法を皆さまに教えて欲しいです。

(成長戦略)地域産業の競争力強化

P30: 地域産業について、先日市長も少し言っていました、秋田には立派な杉の木がいっぱいあります。外国に輸出するくらいの心構えが必要かと思えます。私達が20歳代の頃植えた杉は50年もたちました。立派な杉に成長し、輸出しないまでもその杉をいかして家を建てるなり、また他に使用できれば大変良いことだと思いますし、若い人達、特に農家の人達は冬は仕事がありません。その方達には木の切り出しなど収入にもなりますし、山を持っている方達は高齢になってしまいました。少しでも若いときに植えた杉がお金になったら本当にうれしいことだと思います。

(人口動態)

P22: 資料に関して、人口動態データが平成17年までであり、今現在までの過去5年間ならわかるが、資料が古いと感じる。その資料に基づいては、考慮の対象外となるのではと考える。

(将来都市像)保健・医療

P50: 感染症の発生およびまん延を防止するための予防接種以外にも、「VPD(ワクチンで防げる病気)にはワクチンを」のスローガンを持ち、ワクチン接種で高い予防率を目指して欲しいと思います。子宮頸がん予防ワクチンは、10歳以上の女性の方が対象ですが、約70%が予防できるとされています。この予防接種は高額のうち、(計3回:初回、1ヶ月、6ヶ月、4~6万円)産婦人科・小児科・内科で受診できるとはいえ、なかなか個人レベルでは受けにくいのが現状です。秋田もぜひ積極的にワクチン接種を公費助成として考えていただきたいと思います。

(将来都市像)

P35: 私の一つの意見で、関係のない話になるかもしれませんが、ある物を利用して秋田に人を呼び込む。具体的に言えば、「こまちスタジアムをこまちドームにして、雪が降っても雨が降ってもOKスタジアムにしたい」。秋田はやはり冬が長いです。プラス雨も降れば一年の間であのスタジアムほどのくらい使えるでしょうか。もったいないと思います。屋根を作るとコンサートやらイベントで何も気にせず一年中使えるスタジアムになるのでは内でしょうか。それをするには多額の予算がかかると思います。協力してくれる企業・市民を募り、いつしか利益があったら各企業・市民に還元する?

夢みたいな話を聞いてくれてありがとうございました。

(成長戦略)観光あきた維新

P31: 新たな観光資源の活用。千秋公園は桜・つつじの頃は人もあるが、7月頃咲くハスの花も見事なものである。そこで、中土橋を使用し、屋台なども呼び、ハス祭りなど開催したらどうかと思う。体育館のような多人数収容できる建物を利用し、今が旬のアーティスト、例えばジャニーズグループやAKB48、または韓国のこれから売り出そうとしているグループ、KARA、少女時代等呼んだらどうかと思う。多少音響の差もあると思うが、ジャニーズ等は老若男女問わずのところもあるし、県内・外から人が来て、宿泊施設も必要になり、商店なども活性化するのはないかと思う。

【自由意見】

(全体)

各項の【対応】については、漠然としており、やや具体策に乏しい。まちの顔づくりや秋田市ブランド商品、秋田市ならではの観光戦略など、特に成長戦略への対応に踏み込んで欲しかった。

(将来都市像) 商工業の振興

新たなビジネスやサービスについては言及しているものの、既存の商工業の振興への施策が不足しているのではないのでしょうか。

(将来都市像) 家族・地域の絆づくり

P53: これからの時代は人間関係が特に重要です。人と人との信頼、親愛、思いやりの基本は「挨拶」だと思います。家庭で、学校で、社会で行き交う人が挨拶しあうようになれば、元気な秋田市になるのではないのでしょうか。

(市民意識)

P18: 「ごみの収集～(42.0%)」について

5年ほど前に栃木県から秋田に帰ってきて、ごみに対する意識の低さ(捨て方など)に驚いた。その時よりは改善されつつあるのかなと思っていますが、高い評価を得ていることは理解に(少し)苦しみます。

(産業構造) 観光

P14: 観光客は、イベント中心で来るのがほとんど(都会以外)だと思うので、竿燈や大曲の花火など一大イベントの時にどれだけ集客できるか、長居してくれるかで少し変わると思う。雪まつり的な行事もやってもいいかと。日本一くらいに有名にならないとわざわざ秋田に来ようと思わない。(秋田にしかない、秋田でしかみれない等)。

(市民意識)

P18: 除雪は、はっきり言いつやってくるのかと。通勤時間にやられても仕方ない(遅すぎ)。朝方にやって欲しい。横手など県南は予算もかなりあるようで、除雪もしっかりやっているみたいですが、中途半端な除雪が一番危ない。もっと予算を使ってもいいと思う。

(市政全般)

駅前に駐車場が少なすぎる。遠方の方はわざわざ来ないのでは。地下鉄ができれば、すぐく全てが改善されると思う。IRISなど、いち早く秋田を売り込んだり、新しいお店を徐々に増やしたり、最近では観光振興の推進、地元の人達の楽しみが増えてると思う。これからも、しばらくは秋田市の人達が楽しめるような秋田にし、観光客等はその後を考えればいいと思う。

(将来都市像) ごみについて

P41: 近所のごみの出し方を見ていると、まだまだ教育が行き届いていない。ごみを整理もせず、1回のごみ出しに45Lの袋を3つも出す人が目につく。しっかり分けて出すと今のごみの量は1/3くらいになると思う。市民にごみの出し方をしっかり教育する方法を考え、徹底してはどうだろう。(幼児・学校教育から始めては)

(将来都市像) 道路整備の歩道について

P44: 秋田市の歩道はとても歩きづらい。段差がきつい。歩道が車道より一段高くなっているのが、家々の駐車場へと段差がつく。それが場所によってはとてもきつく、歩くのも大変傾斜がきつく、車いすは通ることが不可能な場所も多い。歩道と車道をバリアフリーにし、その境目に仕切りをコンクリートでつけたらどうですか。

(将来都市像) 雪に強いまち

P47: 秋田市の除雪は大変下手です。不必要に出勤し、必要な場所にはいつまでも来ない。除雪業者をもっと教育してほしいと毎年思っております。

(将来都市像) 生涯スポーツ

P58: 心身ともに健康な生活を生涯おくれるように、町内・地域ごとに気軽に体を動かせる場を作り、自由に参加し、適切に指導してくれる人(ボランティア)がいると、寝たきりの人が減り、健康や生きがいづくりが進むと思う。

(将来都市像) 企業誘致

P36: 企業誘致も積極的に行ってほしいが、起業者の育成・支援体制を構築してほしい。(今まで以上に)

(全体)

全体的にもっと具体的な施策を表記してほしい。(予算計画等も含め)

【自由意見】

(成長戦略)エイジフレンドリーシティ

P33:私も15年後は70才、健康であれば働いているでしょう。子どもや年金もあてにはできないだろうと考え、現在必死に働いています。今のところは働ける場所と安らげる自分の居場所があるので頑張っていますが、将来はどうでしょう。

(将来都市像)高齢者福祉

P55:家族と暮らしながら、生きがいや居場所をなくした高齢者が自殺をしています。これまで頑張ってきたお年寄りが安心して人間らしく暮らせる社会は、誰にとってもやさしい社会だと思う。

(将来都市像)教育の充実

P59:小中の学力テストで優秀な成績をおさめている秋田県。子どもはもちろんのこと、保護者、学校関係者の努力の賜物と思います。全国から注目され、誇れる部分でもあります。これを是非、高校・大学・社会人へとつなげ、自立した人間づくりができれば、それこそが本来の教育のあり方でもあると思います。そんな子ども達が喜んで秋田に住み、働いていけるのであれば、住みよいまちづくりの実現も夢ではないですよ。

(成長戦略)地域産業の競争力強化

P30:秋田市に風力発電の一大拠点づくりに取り組むなどはどうでしょうか。

(成長戦略)観光あきた維新

P31:秋田市内には、年間を通しての観光地が存在しないことから、短期また通年にわたって集客できる観光拠点が必要だと思います。

(成長戦略)次世代の育成支援

P34:市内の町内には、子どもが少ない地域が多く見られるようになってきた。都市計画にも、次世代育成支援にも、エイジフレンドリーシティの実現にも、若者が市内に残ることができる雇用の場が必要であると思います。

(将来都市像)農林水産業の振興

P38:農林水産業の就業人口・生産量・生産額がともに減少しているが、市内に他の商工業が発展していない現状を考慮すれば、雇用の場確保も兼ねて農業法人また農業会社などを設立し、一大食料生産拠点づくりをするようなことはどうだろうか。

(将来都市像)にぎわいの創出

P40:にぎわいを創出するためには、市民が散策したいと思えるような街道、繁華街が必要だと思う。そのためには、他県市町村の例を大いに参考にするとどうでしょうか。

(成長戦略)観光あきた維新

P31:「旅行者のニーズに～が必要」であるならば、例えば今年の桜まつりは天候不良なこともあり、会期は延長したものの、会期後にはぼんぼりは付いているが消灯されていた。まだ見頃であるならば、ぼんぼりだけでも灯をつけておくことで、人を呼び込めるのではないだろうか。

(全体)

基本的には総合計画としての原案はこのようなスタイルになると思いますが、私達市民は1～25ページに掲載された前提要因(今までのデータ)を改めて認識し、現状を正しくとらえ、今後5か年にわたる計画を市民一人ひとりが無頓着をやめ、秋田市民として何か一つでも計画に参加しようとする意識を持つことが必要と思う。

市も基本構想から推進計画へと具体化していかねばなりません、もう少し計画資料のぜい肉を省き、単純化を図るべきだと思います。

(将来都市像)住宅

P43:近年、空き家の増加傾向が見られる秋田市内ですが、その有効活用法として、地場産業に興味のある人々等に体験してもらえる企画を宣伝してみたいかがでしょうか。市内・外を問わず、他県からの移住者を積極的に募集すべきだと思います。

(将来都市像)学校教育

P59:核家族化が進み、高齢者と触れ合う機会がない子ども達が増えていると思います。そこで、幼・小・中学校を問わず、老人施設との複合体のような学校があっても素敵だと思いますが、いつの日か秋田でも実現できるようになればいいと思います。

(将来都市像)にぎわいの創出

P40:公共の無料駐車場の設置(5か所くらい)。減額等は効き目ないのでは。

【自由意見】

(全体)

P4・15・16・17: 秋田市の地形、地図がわかりにくくて見にくい。

パワーポイント等ではきれいに写ると思うが、この状態となると見にくい。カラー刷りとかになるのでしょうか。グラフも背景色がぼやけて見える。

P20: 戦略の文字が今の状態では見づらい。

脚注は良いと思う。

(市政全般)

よく整理され体系化がなされており、問題点も明確になっているように思います。後はプライオリティを決めて、最も全体に対する効果が大きい「プロジェクトX」をいくつか強力で推進することで、多くの課題が自動的に市民の手で解決されていくように。

(1) 秋田(市)の活性化、にぎわい、地域発信、将来性

(2) 緊急に対処すべき問題 失業、雇用、自殺対策

グローバル化という大きな社会構造の変化と金融危機に対応しつつ、これから数年以内に大きな成果を上げ得るのが、上記の2項目だと考えております。それにより、他の多くの問題点が同時に解消へ向かうのではないかと思います。

(1) 秋田(市)のリソースをある地域に集約して大展開

「地域通貨＋毎日お祭り町」

各ジャンル音楽演奏・地方演芸・とびきりうまい特選料理・軽食(地元産安心・安全食材)・フリーマーケットを一店舗内にパッケージしたものを道沿いに並ばせる。買い物は現地発行の地域通貨券(有効期限&減価券)

常設イベントは「趣味」もあり。趣味仲間の語らいの場、売買、交換

(2) 一宿一飯のセーフティネット

そこへ行けば誰でもできる単純労働があり、サバイバル可能。公的派遣・官製パート・仕事ストック・宿ストック。

今後安定した長期雇用の確保はさらに困難になっていくものと思われます。しかし、「地域通貨」が展開されると、収入半減以下でもそれを補う形で人々のコミュニケーションとサバイバルが可能になるでしょうね。

(成長戦略) 都市イメージ「ブランドあきた」の確立

P29: 県なのか市なのかわからない。「あきた」を「あきた市」にすべきでは。

「秋田市の元気を十分にアピールできていません」とあるが、現状アピールするだけの元気があるのか疑問。

(成長戦略) 地域産業の競争力強化

P30: 「潜在力を戦略的に引き出して」は聞こえは良いが、具体策が伴わなければ意味がない。

産業を創出するのにビジネスチャンスをつかめるのは当たり前。横文字を使って見栄えを良くしているだけでは。

(成長戦略) 観光あきた維新

P31: 戦略に関しては、オリジナリティーにこだわる必要はないと思う。マスコットキャラクターをまねるなどは当然良くないが、他の都市の優れた戦略を真似、もしくは参考にしても良いのでは。

(成長戦略) 環境立市あきたの実現

P32: (背景)にある「総動員」という表現はいかがなものか。国家総動員法のイメージもあり、戦略をあまり考えない、数打てば当たる的なニュアンスが感じられる。

(戦略の方向性)にある「積極的な温暖化対策」は、漠然としすぎている。積極的に行うことは、何をするにも大前提のはず。飾り言葉にしか見えない。

(将来都市像) 情報通信環境

P46: 「技術開発の状況を見据え」でも、通信環境の導入が進むのか疑問。導入が進まない原因は、「技術」よりも「採算性」の問題が大きいのでは。アプローチの方向がずれているような気がする。

【自由意見】

(成長戦略)都市イメージ「ブランドあきた」の確立

P29:先日中心部の陸上競技場や県立体育館を使用した時に、久しぶりに八橋運動公園に立ち寄った時にあまりの貧弱さに驚いた。私が小学校時代、20年ほど前は滑り台や丸太のアスレチック遊具、ブランコ等子ども達が生き生き遊べる遊具がたくさんあり、放課後は子どもであふれていたものだが、現在は休日でも静かで寂しい。公園の数は増えているが、内容は乏しくなっている。市営プールも廃止された今、秋田市を代表する八橋運動公園をもっと充実させてほしい。あれが秋田市中心部の運動公園だと思われると、秋田市のイメージが損なわれるのではないか。子育て世代の仲間も、せっかくいい場所があるに残念がっている。裏の県立体育館の隣の公園も同様、東屋は朽ちてアメンロだらけ、遊具は何もなく動物の置物だけがあり何とも寂しい。「市民が誇れる魅力あるまちづくり」を是非とも実行に移していただきたい。可能ならば八橋の冬祭りをまた復活させてもらいたい。冬場、子育て世代がたくさん集える場は少なく、「にぎわいの創出」としても貴重である。

(成長戦略)地域産業の競争力強化

P30:現在秋田では定年を迎えた世代がたくさんいらっしゃる。その技術や知識をそのままにしておくのは、その方にとっても、まちにとってももったいない。時々、某法人に託児をお願いしているが、昔の方は若者が知らない大変役立つことを教えてください。定年退職した高齢者がよりよく生活できるよう、人生の生きがいのため仕事を続けていけるよう、NPO法人を立ち上げやすくするとか、自宅でサロン等を開きやすくするとか、助成等援助の面も手厚くしていただきたい。前総合計画の総括でも、産業分野の評価が著しく低い。より具体的な戦略を打ち出してほしい。

(成長戦略)観光あきた維新

P31:(背景)の「工夫の余地」そこが知りたい。市民の中には、みんなが知らない隠れた名スポットを知っている方もいると思う。募集したり、アンケートをとったり、市民意見を十分にくみ上げて新総合計画を策定してほしい。

(成長戦略)環境立市あきたの実現

P32:消費者リーダー研修に参加して初めてe-市民認定システムのことを知った。2ヶ月ごとにエネルギー消費量を報告して認定してもらう取組は面白い。秋田市環境部の講座も大変評判よく、より広く市民に広告し、活動を続けてほしい。我が家のチェックから始めることで、子ども達も節電、節水、ごみの分別等に興味を持って取り組むようになった。市民全員で取り組んでいければ、地球温暖化対策にも大きな力となる。ごみ袋有料化について、決定はまだにしろその進行状況を知りたいと町内の声が上がっている。

(成長戦略)エイジフレンドリーシティの実現

P33:「エイジフレンドリーシティ」という言葉が非常にわかりづらく、なじみにくいという意見を耳にする。普通に「高齢者にやさしいまちづくり」としてはどうか。

(成長戦略)次世代の育成支援

P34:戦略5に比べ、重点プログラムが少ない。先日政府発表の「子ども・子育て新システムの基本的方向」を見ると、もっと取り組む成長戦略があるのではないか。少子高齢化が進む中、子育て支援は非常に重要。私は二児の子育て真っ最中であるが、仕事と生活の調和は実に難しい。先日育児・介休法改正に伴い、職場に看護休業制度が設けられたが、たった5日取得すると欠勤扱いのため、給料は減額、賞与も減額、昇級は遅れるといった具合である。これでは所詮、絵に描いた餅に過ぎない。労使の自主性に任せず、市も進んで安心して子育てしながら働ける社会の実現に向けて強く支援してほしい。時々利用させていただくが、ファミサポのような取組はますます必要になってくる。特に小学校に入学後が不安という声を聞く。放課後両親共働きの子どもを見てくれる場が十分になれば働き続けることはできない。ワークライフバランスの実現に向けても、全国に合わせていくのではなく、先駆けて取り組んでほしい。

(将来都市像)商業・サービス業

P36:将来、高齢化社会に突入するに当たって、買い物不便となります。インターネット、スーパーマーケットの配送、コンビニの配送、コンビニの生鮮販売、移動販売などがあれば助かるので、業者への支援・応援・推奨を期待します。

(将来都市像)農林水産業

P38:米の国、秋田ですから、食育を重視し、米を摂取する方向へ努力することが大事です。学校、企業などで食育プランナーの指導を受けさせたり、調理実習を実施しても良いと思います。

(将来都市像)文化・芸術活動

P57:ストレス社会の昨今、芸術・文化に触れることは心の癒しとなります。気軽に参加できるような、訪れることができるような文化施設ができることを望んでいます。子どもから高齢者までの展示会も、ものづくり・生きがい・自信に結びつき、生活も潤うと思います。

【自由意見】

(将来都市像)児童福祉・子育て支援

P54:100人会での市長の保育所に関する話の中で、平成23年度中に待機児童がゼロになるように、とのことでしたが、子育ては保育園だけではないということ。「小1の壁」をもっと真剣に考えてもらいたい。保育所だけ増やしても、その先の小学校に入った時の方が預け場所がなく、仕事を継続していくのが困難になる現実。秋田市くらいです。学童保育に関してあまりにも親任せで、何も手をつけていないのは。我が家では現在学童の会長をしています。指導員の給料の計算、職員募集、何から何まで自分たちでしています。当然待機児童も存在しています。通常自分の仕事を圧迫するほど大変です。当然、他市町村は自治体でそれらを担っていると聞きます。市の管轄する児童センターと学童とを上手に利用すれば、公費を莫大に使わなくとも、皆に喜ばれる子育て支援ができるのではと感じます。学童の役員は公務員主体で仕方なくやっています。

(市政全般)

秋田市は土地が広大なので、大規模企業を誘致し、人口を増やし、それに伴い交通手段の整備をする等をすれば、建設業者も潤うと思う。人が増えれば店も増え、雇用も増えるのではと思う。土地を活かし、アウトレットがあれば近隣の県からの観光客も増えると思う。海があるのに全然活かせていないと思う。国道7号線は車で走っていて、7号線沿いはかなりさみしいと思う。海沿いを活性化する方法はないのでしょうか。土地分譲をして、人を住ませても良いと思う。子どもを育てるにしても、収入が少なく先が不安になる。実際2人目はかなり戸惑いがある。県民の収入を増やさなければ、明るい未来はないと思う。

(産業構造)観光

P14: イベント、コンベンションの誘致に力を入れる必要があると思います。

(市民意識)

P20: 評価が下がった各項目の一番の解決策は、「中心市街地の活性化」だと思います。県とも協力しながら、強力で早急に推進を期待します。

(将来都市像)循環型社会

P41:【対応】として、「市全体でごみの減量やリサイクルの推進に関する取組を強化」とありますが、ごみの減量をする 것도大事ですが、ごみの分別をすることも大事だと思います。それが、リサイクルの推進やCO2削減につながると思います。

(将来都市像)交通安全対策

P49: 年代を問わず、歩行者の信号機がない場所での道路横断や信号無視などが目につきます。全体的な意識啓発で、高齢者の交通事故が減らせると思います。

市民100人会の中には、生活保護者や身体障がい者などの人も考慮されているのでしょうか。健常者にはわからない点も多々あると思います。